

保護者の皆様

令和6年9月吉日
白山市立明光小学校

令和6年度 前期学校評価結果について

秋晴の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、令和6年度前期学校評価(7月)の結果がまとまりましたのでご報告いたします。評価結果は、本校の目指す児童像「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」についてそれぞれ評価項目を設け、A・B・Cの3段階で評価しております。目指す児童像ごとに、分析と改善策をまとめました。今回の評価結果を受け、これまでの取組を見直し、よりよい学校教育を目指していきます。保護者の皆様には、アンケートを通じて、様々なご意見等をいただきました。今後の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

肯定的な評価の割合が
A 90%以上 B 90%未満～70%以上 C 70%未満

<学習 かしこい子>

	評価項目	回答者	評価	総合
学習規律	学習規律の徹底に努めている	教員	A	B
	チャイムスタート、あいさつ、姿勢等をしっかり守っている	児童	B	
	基本的な学習習慣が身につけている	保護者	B	
学習内容の理解	ねらい(育みたい資質・能力)を明確にした授業を行っている。	教員	A	A
	授業が分かりやすく、「できた」「分かった」と思うことがよくある	児童	A	
	子どもは、授業の内容をしっかりと理解している	保護者	B	
学力	深めの発問や適用問題等で授業の後半部分を充実させ、学力の定着を図る	教員	A	B
	これまで学習してきたことが、しっかり身に付いていると思う	児童	B	
	子どもには、その学年に必要な学力が身に付いていると思う	保護者	B	
家庭学習	家庭学習の充実に向け、工夫や努力を重ねている	教員	B	C
	家で、学年×10分間の勉強をしている	児童	C	
	子どもは、家庭で、学年×10分間の勉強をしている	保護者	C	

分析・考察

<学習規律>

・教員は学習規律の定着を常に意識しているということが評価に表れている。その結果、児童の82%が「学習規律をしっかりと守ることができた」と回答している。今後も、個別に声をかけたり、できている児童の姿を全体に広めたりして、学習規律が徹底するよう取り組んでいく。

<学習内容の理解>

・ねらいを明確にした授業を教員は心がけている。児童の肯定的評価は90%で、児童の多くが授業で「わかった」「できた」という達成感を感じていると思われる。今後も、児童の学習の様子を見取り、個々への支援も行いながら、一層ねらいを明確にした授業の実践を目指していく。

<学力>

・児童・保護者ともに、肯定的評価が80%を超えており、概ね基礎的な学力は定着していると捉えている。しかし、学力が十分身に付いていないと捉えている児童に対して、個別に適宜指導し、学力の定着を図っていく。今後も、深めの発問を意識して行い、適用問題を繰り返し取り組ませるなど授業の後半部分を充実させ、確かな学力の定着を図る。

<家庭学習>

・教員は家庭学習が定着・充実するよう毎日宿題を出し、指導や声かけをしている。児童には、家庭学習に対する意識の差があり、家庭学習が定着していないところも見られる。引き続き、家庭学習の定着を図る「クロステン」の取組について、お便りやメール等でお知らせし、保護者の方にご協力いただき、学校と家庭が連携し家庭学習の定着を進める。

<生徒指導 やさしい子>

	評価項目	回答者	評価	総合
自己肯定感	自分のよさに気づき、自分自身を大切にしようする児童の育成	教員	B	B
	自分にはよいところがあると思う	児童	B	
	子どもは、自己肯定感が高い	保護者	C	
いじめ	子ども達は、いじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごしている	教員	A	A
		児童	B	
		保護者	A	
やさしさ思いやり	子ども達は、自分から進んであいさつしている	教員	B	B
	先生、友達、地域の人に自分から明るいあいさつをしている	児童	B	
	子どもは、家族や地域の方に対して、自分からあいさつしている	保護者	C	
	友達にやさしくし、困っている友達がいると声をかけ、助けようとしている	教員	A	A
		児童	A	
		保護者	A	
	子ども達は、学校で楽しく過ごしている	教員	A	A
		児童	B	
		保護者	A	

分析・考察

<p><自己肯定感></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭において、子供たちの結果だけを見ていることがあると思われる。子供たちがチャレンジしている姿や、いつも当たり前でできていること、また、できていない場合でも、「ここまで頑張れたことが成長だよ」などと、頑張っている過程を認め・褒めることで自己肯定感を高めていく。 <p><いじめ></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校は、未然防止、早期発見・早期対応を心がけ、いじめによる被害を最小限に抑えようと努めている。毎月の友達アンケートや日常的な観察などにより、子供が困っていることを発見し、早期に対応している。しかし、いじめは、いつでもどこでも起こり得るものである。引き続き、子供の変化を見逃さないよう、全教職員で連携しながら、子供の様子を注意深く見守っていく。 <p><やさしさ思いやり></p> <ul style="list-style-type: none"> 子供たちはあいさつをしていると感じているが、教員や保護者からみると、まだ自分からあいさつができていないと感じている。大人が率先してあいさつしたり、その都度声をかけたりして、「自分から先に」「相手に届く声で」を視点に、家庭とともに取り組んでいく。 友達に対する優しさは、教員・児童・保護者ともにA評価であった。引き続き、困っている人にやさしく関わっている時には、その都度認めて周りに広めていく。 学校では、大多数の児童が友達と楽しく過ごしている。しかし、一部であれ、楽しく過ごせていない児童がいることも明らかになった。児童の様子を一層注意深く見守っていく。

<特別活動 たくましい子>

	評価項目	回答者	評価	総合
体系的な取組	自ら運動に取り組む児童が育っている	教員	B	B
	自分から進んで運動に取り組んでいる	児童	B	
自主的な行動	より良い生活を目指し、自ら進んで行動している	教員	B	B
		児童	B	

分析・考察

<体育的な取組>

- ・なわとびや持久走などの取組方法の改善や記録の見える化することで、自ら進んで運動に取り組む意識が高くなったと思われる。今後も、体育の時間に全員で取り組む運動を取り入れ、すべての子供たちの体力向上・健康の保持増進を図る。

<自主的な行動>

- ・自分の思いや考えを相手に伝える力の育成を教育課程の柱に据え、教育活動を積み重ねてきた。普段の学習の中で培った力を生かして、より良い生活のために考えを出し合い、自ら進んで行動する児童の育成を目指している。2学期は、運動会等の学校行事の中で、より良い生活を目指し、進んで行動する姿が見られるよう働きかけ、よい姿を認め褒め、広めていく。

<保護者自由記述欄の中から>

- 子供が毎日学校の話を楽しそうに話しています。日々、子供の充実した学校生活をつくって下さっている先生方にとっても感謝しています。いつもありがとうございます。
- 4年生になり、勉強も難しくなる中、社会見学など増えて良い経験になり身について欲しいなあと思うので、これからも続けて欲しいと思います。先月の音楽会もみんなで力を合わせ練習の成果が出ていて感動しました。
 - ・本人から友達、先生に声をかけることが苦手らしく、もう少し勇気を出して欲しいと思います。友達から何か言われても嫌と言えず、家に帰ってきてからあの時イヤやった！と話しています。もう少し自分の意志を言えるようになってくれればな、と思います。一人でいるような時は声掛けしてもらえたらなと思います。
 - 学校では、子供の変化を見逃さないよう、全教職員で連携しながら、子供の様子を注意深く見守っています。困り感が感じられる場合は、声掛けし話を聞いています。ご家庭で、お子さんから学校で困っていることをお聞きしましたら、学級担任にご連絡ください。
 - ・夏休み期間中の学校プールは公開されてないのですか。公開されないのであれば、なぜ公開されないのか事情を知りたいです。
 - 暑さ指数（WBGT）が31℃以上の場合は、熱中症予防のため、子供の運動を中止しています。屋外の暑さ指数が31℃以上の日が多いことや、監視される保護者の方の健康等を考慮して、今年度、市内すべての小学校では、プール開放を行いませんでした。